

令和7年度 看護職の定着確保動向調査結果 — 求職者対象 —

I.調査概要

調査目的	離職中の看護職の就業意向や希望する勤務条件等を把握し、今後の看護職の定着確保対策の基礎資料を得る
調査対象	千葉県ナースセンターに登録の「就職活動をしている」未就業看護職
調査時期	令和7年5月9日 ～ 令和7年5月29日
調査方法	調査依頼をメールと郵便ハガキにて案内し、千葉県看護協会ホームページのアンケート機能を活用したWeb調査
回収状況	配布数：153名 回答数：22名 回答率：14.4%

II.調査結果

1.ブランク期間

ブランク期間は、「0～3年」の72.7%が最も多く、次いで「6～10年」13.6%、「4～5年」9.1%の順であった。

<表1> ブランク期間 (n= 22)

0～3年	4～5年	6～10年	11年以上	無回答
16	2	3	1	0
72.7%	9.1%	13.6%	4.5%	0.0%

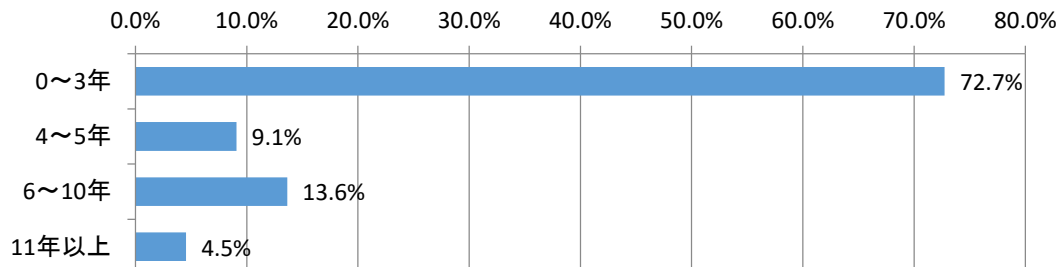


図1 ブランク期間

2.居住地区

居住地区は、「東葛地区」が31.8%で最も多く、次いで同率で「船橋地区」「松戸地区」18.2%の順であった。

<表2> 住所 (n= 22)

千葉	市原	船橋	市川	松戸	東葛
3	0	4	1	4	7
13.6%	0.0%	18.2%	4.5%	18.2%	31.8%

印旛	利根	山武	長夷	君津	安房	県外
1	1	0	0	1	0	0
4.5%	4.5%	0.0%	0.0%	4.5%	0.0%	0.0%

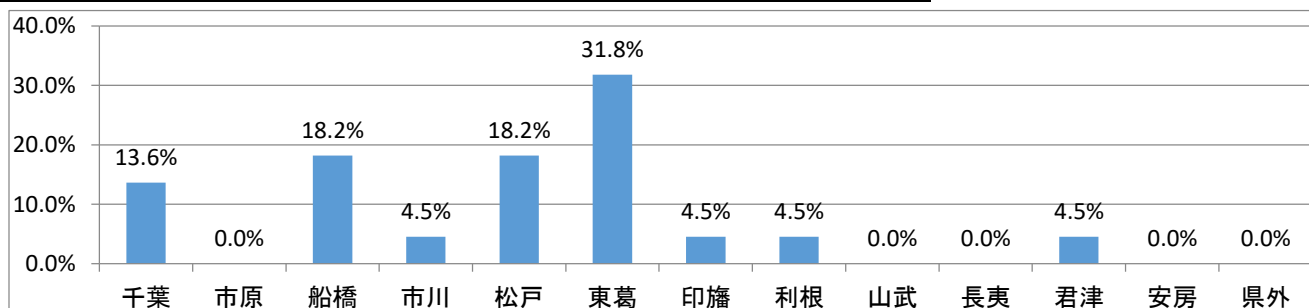


図2 回答者 居住地区

3.年齢

年齢は、「30代」27.3%が最も多く、次いで同率で「40代」「50代」「60代」22.7%の順であった。

<表3> 年齢

(n= 22)

20代	30代	40代	50代	60代	70代
1	6	5	5	5	0
4.5%	27.3%	22.7%	22.7%	22.7%	0.0%

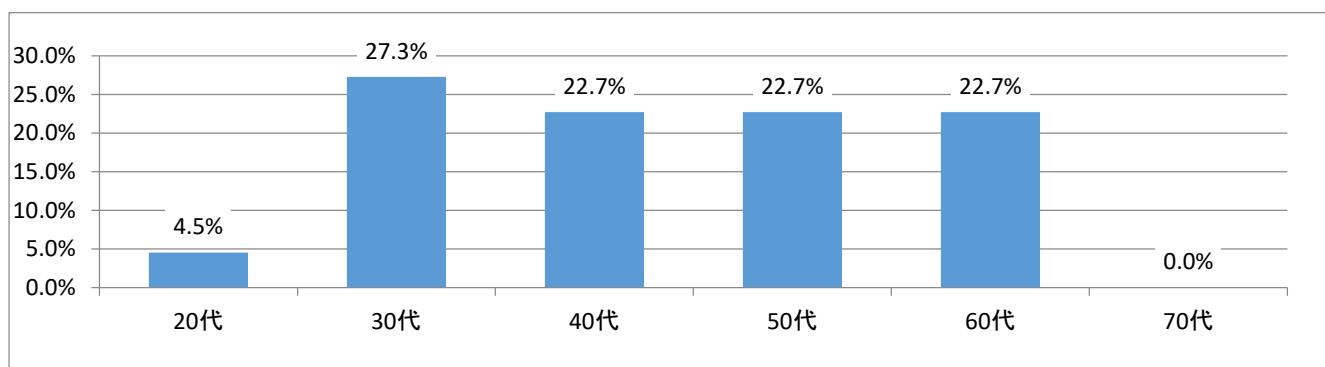


図3 年齢

4.離職時の職種

離職時の職種は、「看護師」が最も多く90.9%、同率で「保健師」「准看護師」4.5%の順であった。

<表4> 離職時の職種 (n= 22)

保健師	助産師	看護師	准看護師
1	0	20	1
4.5%	0.0%	90.9%	4.5%

5.離職時の雇用形態

離職時の雇用形態は、「正規職員」が最も多く59.1%、次いで「非常勤職員」31.8%、「派遣」9.1%の順であった。

<表5> 離職時の雇用形態 (n= 22)

正規職員	非常勤職員	派遣
13	7	2
59.1%	31.8%	9.1%

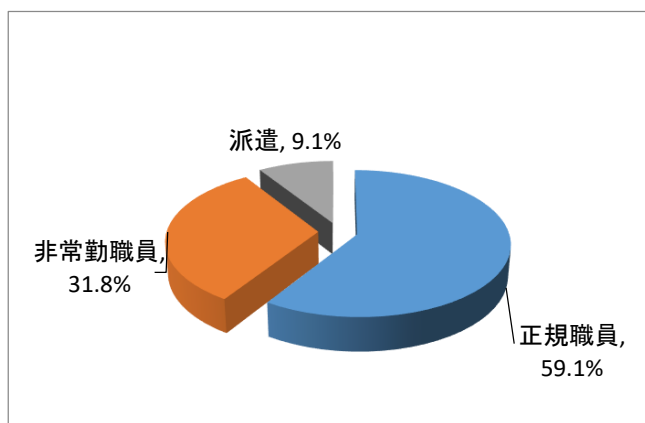


図4 離職時の雇用形態

6.離職時の勤務形態

離職時の勤務形態は「二交代制」が最も多く36.4%、次いで「日勤のみ」31.8%、「短時間勤務」27.3%の順であった。

<表6> 離職時の勤務形態 (n= 22)

日勤のみ	三交代制	二交代制	短時間勤務	夜勤のみ
7	1	8	6	0
31.8%	4.5%	36.4%	27.3%	0.0%

7.看護業務の通算勤務年数

看護業務の通算勤務年数は、「7～9年」31.8%が最も多く、次いで「20年以上」27.3%、同率で「10～14年」「15～19年」18.2%の順であった。

<表7> 看護業務の通算勤務年数 (n= 22)

1年未満	1～3年	4～6年	7～9年	10～14年	15～19年	20年以上
0	1	0	7	4	4	6
0.0%	4.5%	0.0%	31.8%	18.2%	18.2%	27.3%

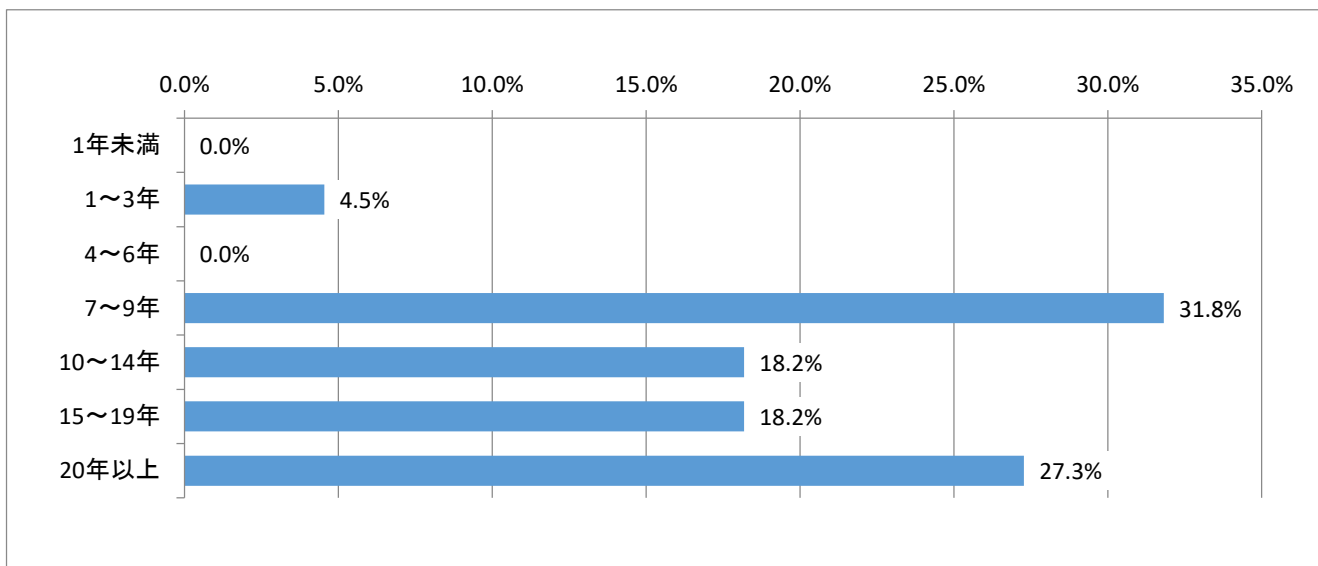


図5 通算勤務年数

8.離職直前の施設での勤務年数

離職直前の施設での勤務年数は、「1～3年」が最も多く45.5%、次いで「7～9年」22.7%、「20年以上」13.6%の順であった。

<表8> 離職直前の施設での勤務年数 (n= 22)

1年未満	1～3年	4～6年	7～9年	10～14年	15～19年	20年以上
1	10	1	5	0	2	3
4.5%	45.5%	4.5%	22.7%	0.0%	9.1%	13.6%

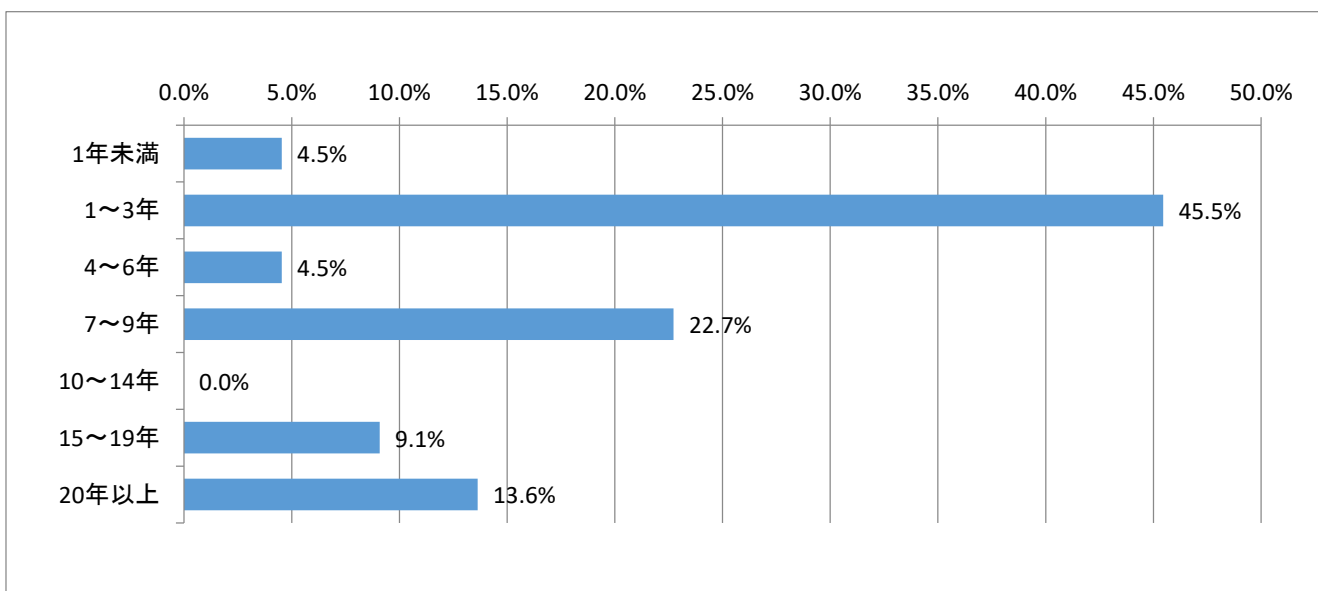


図6 離職直前の施設での勤務年数

9.離職時の施設種別

離職時の施設種別は、「病院」59.1%が最も多く、次いで同率で「介護福祉施設」「学校等教育機関」9.1%であった。

<表9> 離職時の施設種別

(n=22)

病院	診療所・クリニック	介護福祉施設	訪問看護ステーション	保健所等公的機関	健診施設	学校等教育機関	その他
13	1	2	0	1	1	2	2
59.1%	4.5%	9.1%	0.0%	4.5%	4.5%	9.1%	9.1%

その他

・コロナワクチン会場、小売業

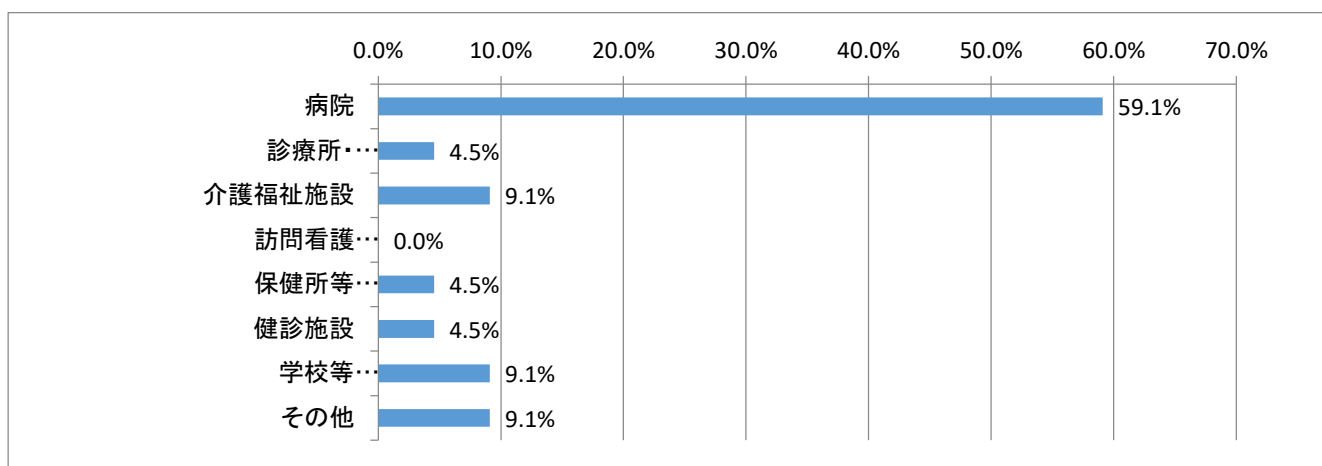


図7 離職時の施設種別

10.離職理由(複数回答)

離職理由は、「出産育児子供のため」が最も多く22.7%、次いで「看護内容への不満」18.2%、同率で「定年退職」「家事と両立しない」「健康上の理由」「自分の適性能力への不安」13.6%であった。

<表10> 離職理由(複数回答・3つまで)

(n=22)

出産育児子供のため	看護内容への不満	定年退職	家事と両立しない	健康上の理由	自分の適性能力への不安	契約期間満了	配偶者の転勤	ハラスメント	結婚
5	4	3	3	3	3	2	2	2	2
22.7%	18.2%	13.6%	13.6%	13.6%	13.6%	9.1%	9.1%	9.1%	9.1%

老親の世話・家族の介護	人間関係	業務量が多い	閉院	転居	通勤困難	他分野への興味	教育体制が不十分	夜勤が負担	時間外手当が貰えない
2	2	2	1	1	1	1	1	1	1
9.1%	9.1%	9.1%	4.5%	4.5%	4.5%	4.5%	4.5%	4.5%	4.5%

休みがとれない	進学	賃金への不満	時間外勤務が多い	福利厚生が十分でない	その他
1	0	0	0	0	1
4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.5%

<その他>

与えられていた業務内容や環境がしんどくなった

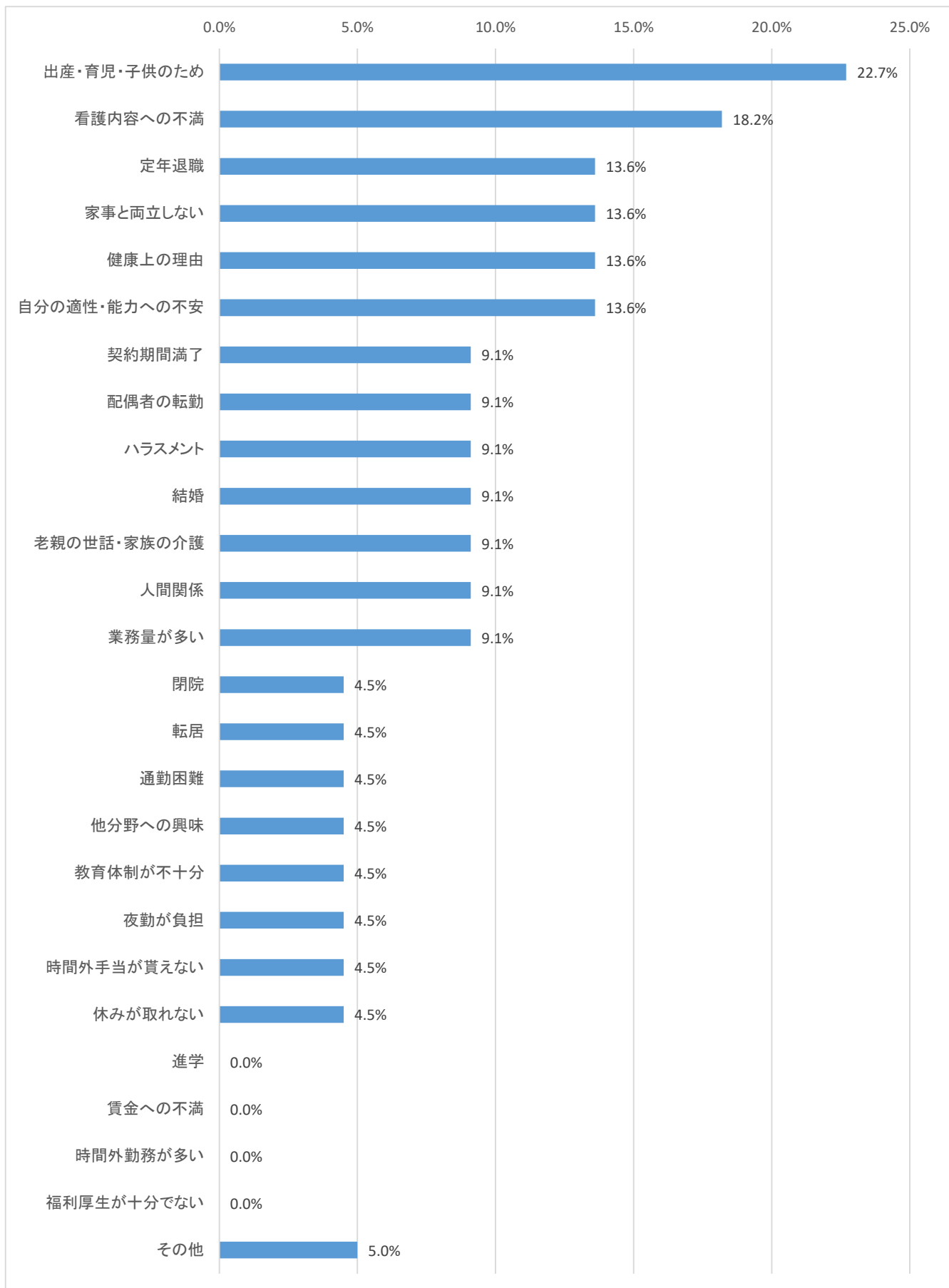


図8 離職理由

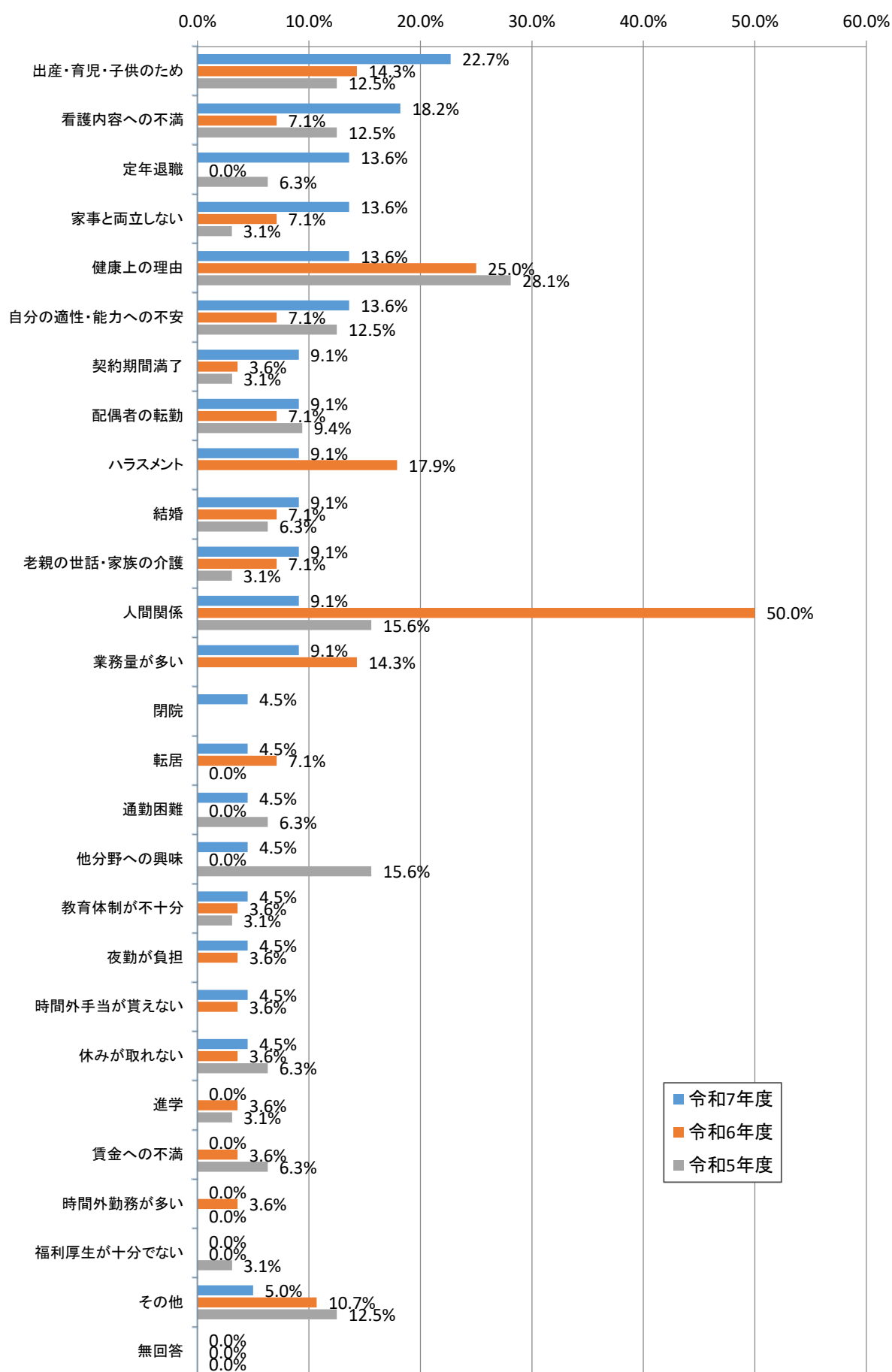


図9 離職理由(3年推移)

11.人間関係が難しかった相手（問10で選択）

人間関係が難しかった相手を尋ねると、同率で「先輩」「同僚」「看護管理者」50.0%であった。

<表11> 人間関係が難しかった相手（複数回答）

（n= 2）

先輩	同僚	看護管理者	師長等中間管理者	他の専門職	一般職員	医師	患者	その他
1	1	1	0	0	0	0	0	0
50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

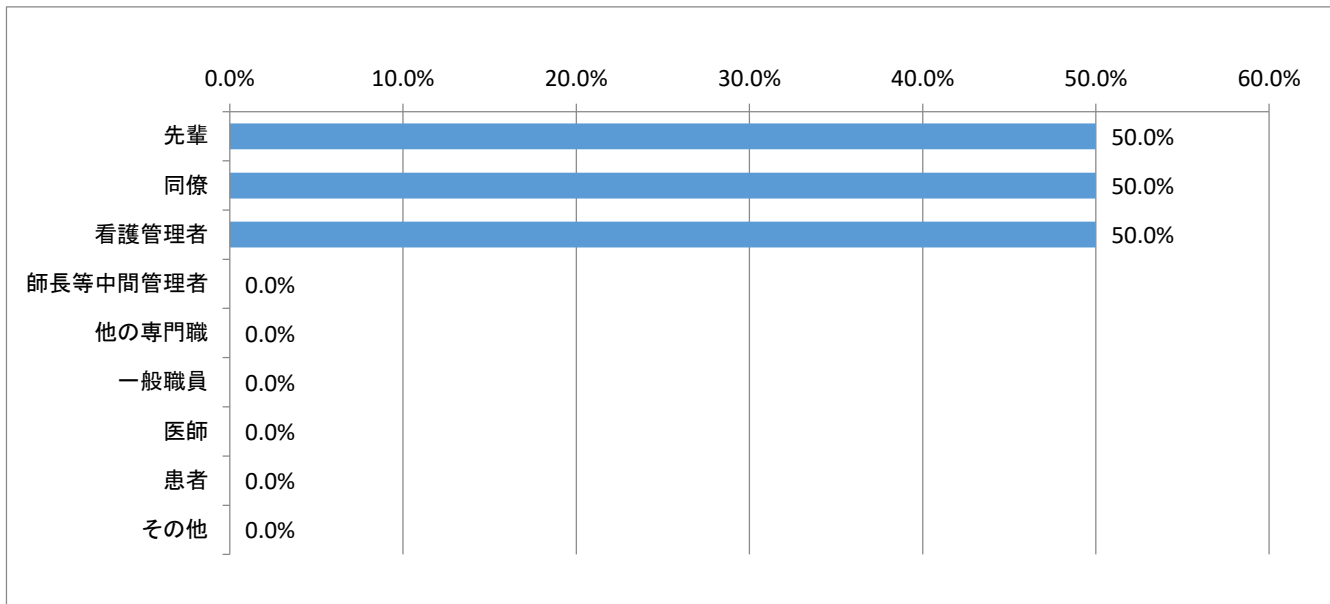


図10 人間関係が難しかった相手

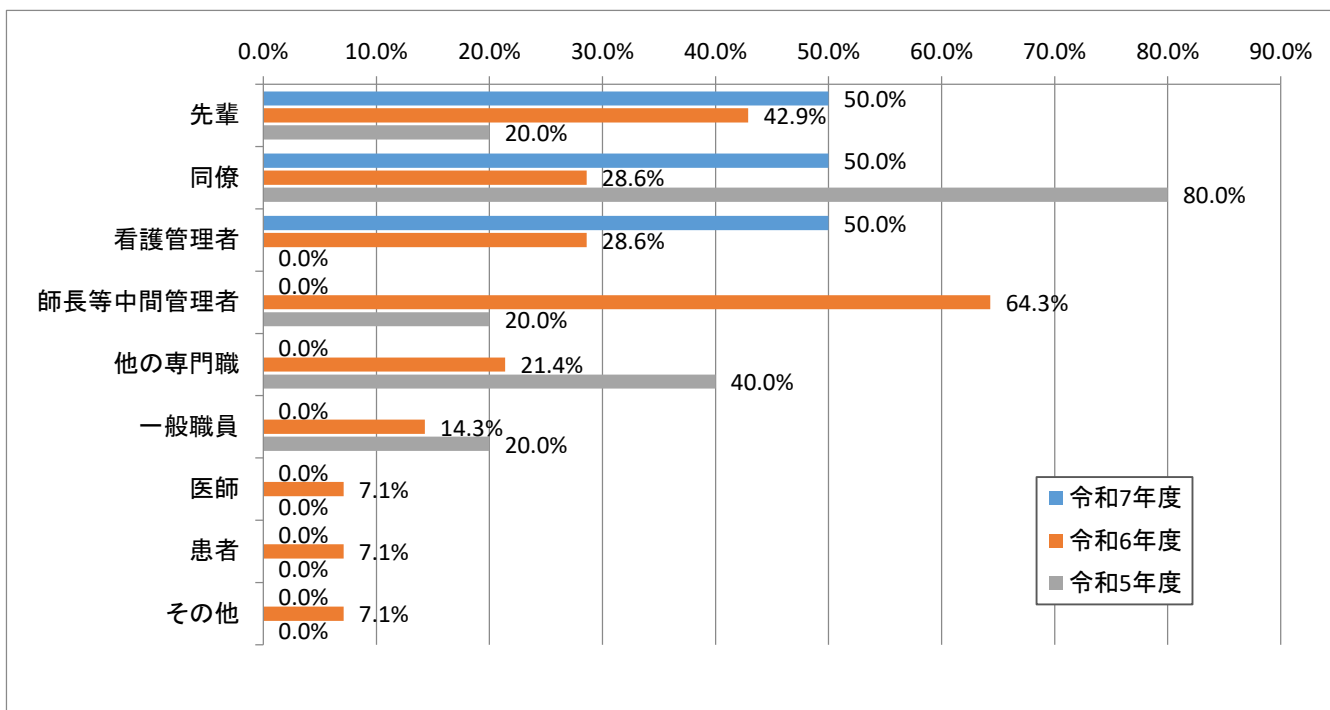


図11 人間関係が難しかった相手(3年推移)

12.「看護内容への不満」の具体的理由（問10で選択）

離職理由を「看護内容への不満」と回答した4名の具体的理由は、「看護業務以外の仕事が多い」「患者とのコミュニケーションの時間がとれない」、その他で「医務室トップが看護していない」、「仕事内容がメンタル面できつくなった」がそれぞれ1件ずつだった。

13.「賃金への不満」の具体的金額（問10で選択）

「賃金への不満」への回答はなかった。

14.就業条件（複数回答）

就業条件は、同率で「休みがとりやすい」「人間関係が良い」が最も多く45.5%、次いで「通勤に便利な職場」「希望する時間帯の勤務」36.4%であった。

<表12> 就業条件(複数回答・主な要件3つまで)

(n= 22)

休みがとりやすい	人間関係が良い	通勤に便利な職場	希望する時間帯の勤務	柔軟な勤務形態	自分の希望する給与	残業がない(定時に帰宅できる)	自分の能力が活かせる	家族の支援・同意がある	夜勤がない
10	10	8	8	6	6	4	4	3	3
45.5%	45.5%	36.4%	36.4%	27.3%	27.3%	18.2%	18.2%	13.6%	13.6%

看護内容が充実	希望する看護領域	院内保育所があり利用可能(夜間保育含)	育児制度が利用できる	夜勤回数が少ない	資格取得支援がある	介護休暇がとれる	教育体制が充実している	その他
2	2	1	1	1	1	1	0	1
9.1%	9.1%	4.5%	4.5%	4.5%	4.5%	4.5%	0.0%	4.5%

その他

・看護部長が論理的になる

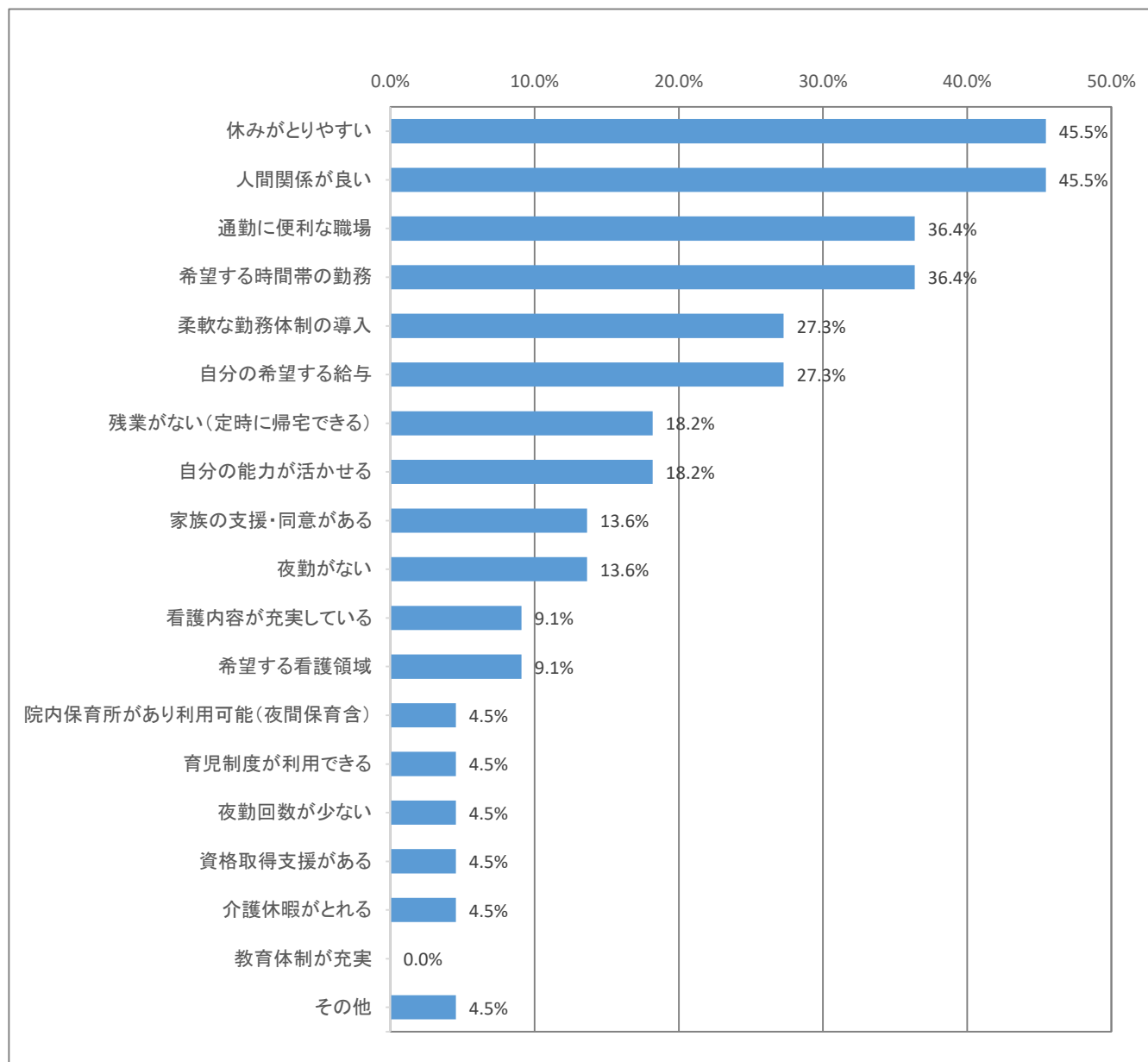


図12 就業条件

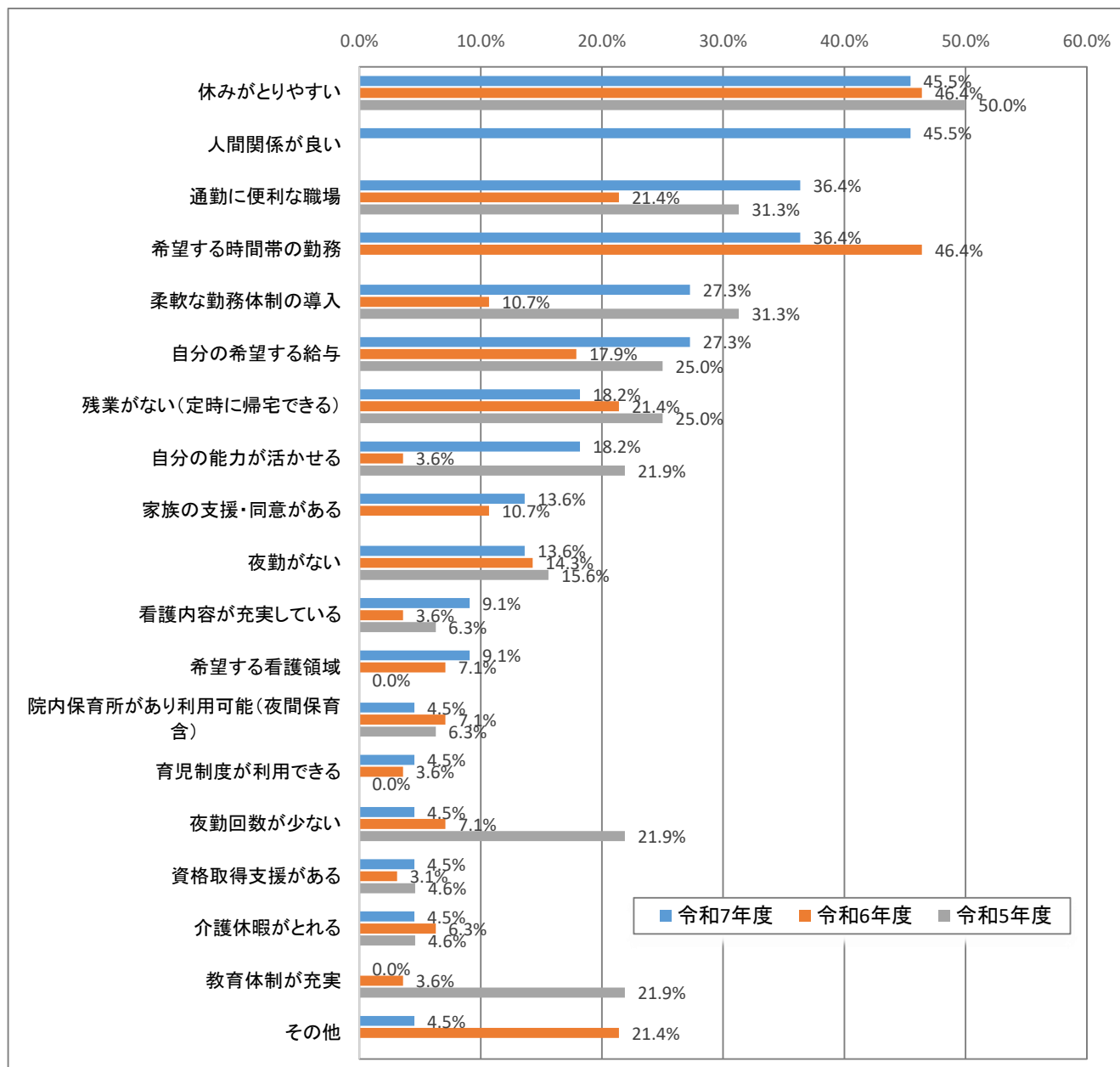


図13 就業条件(3年推移)

15.就職する際の希望の雇用形態

就職する際の希望の雇用形態は、「非常勤職員」が最も多く72.7%、次いで「正職員」18.2%、「派遣」9.1%の順であった。

<表13> 再就職時の希望雇用形態 (n=22)

正規職員	非常勤職員	派遣	無回答
4	16	2	0
18.2%	72.7%	9.1%	0.0%

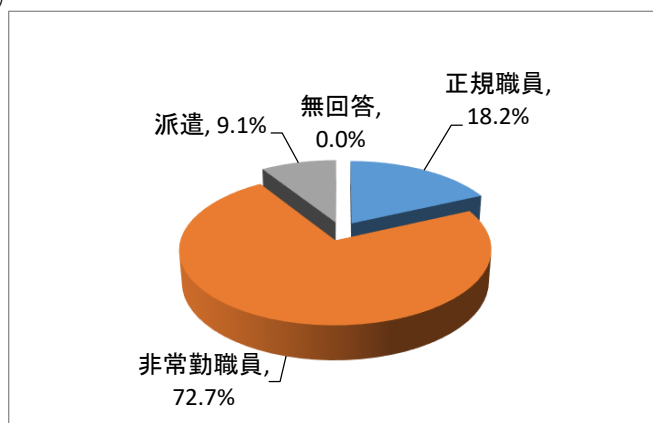


図14 再就職時の希望雇用形態

16.就業希望先の施設種別（複数回答）

就職する際の希望施設種別は、「診療所・クリニック」が最も多く63.6%、次いで「病院（外来）」40.9%、同率で「学校・大学等教育機関」「企業」「保健所等公的機関」「健診施設」36.4%の順であった。

<表14> 就業希望先の施設種別

(n= 22)

診療所・クリニック	病院（外来）	学校・大学等教育機関	企業	保健所等公的機関	健診施設	訪問看護ステーション	幼稚園・保育園	病院（病棟）	介護福祉施設
14	9	8	8	8	8	6	5	5	4
63.6%	40.9%	36.4%	36.4%	36.4%	36.4%	27.3%	22.7%	22.7%	18.2%
特別支援学校	その他								
2	1								
9.1%	4.5%								

その他

・福祉施設

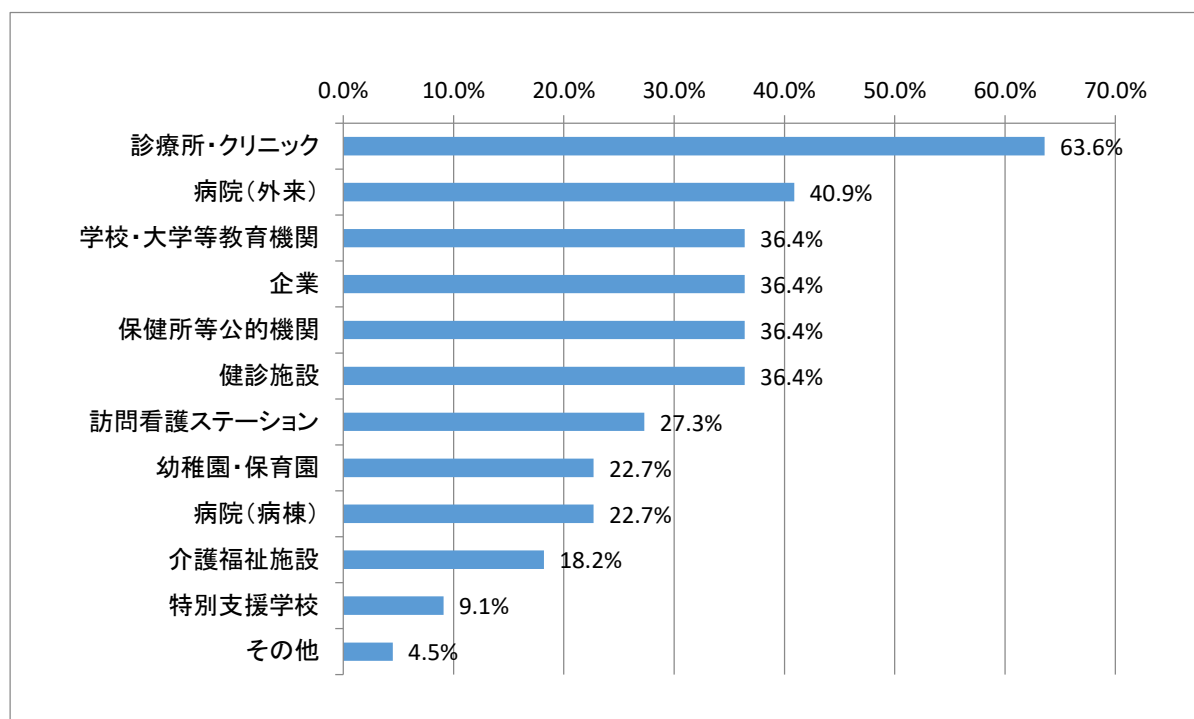


図15 就業希望先の施設種別

17.再就業に向けて希望する研修

再就業に向けてどのような研修を希望するか自由記載で問うたところ、7件の回答があった。

- ・パソコンセミナー2件
- ・復職者向け看護技術研修、医療安全、感染対策等の研修
- ・採血、点滴、ストマ交換、経管栄養などを再学習できる研修
- ・机上の知識や勉強会ではなく、基本的かつ実践的な看護技術(採血、ルート確保、清潔と不潔の管理、レベル確認、急変時の対応など)を再確認できる研修が欲しい。再就職希望しているがブランクがあるため、どこの職場でも必ず必要になる実技を確認したい
- ・採血の手技に加え、検体の勉強をしたい
- ・胃カメラの介助について勉強したい
- ・学校や保育園、企業等の施設で働く際の研修
- ・再就職後のリフレッシュセミナー
- ・接遇マナー